

平成 24 年度第 1 期コレクション展
美の技 関谷四郎
 4月11日◎-7月8日◎

関谷四郎は 18 歳で初めて鍍金に触れた時、「一枚の板金からいろんなものができて、しかもそれが美しい。これはおもしろいな」と思い、20 歳で上京し鍍金の道を志しました。70 歳で重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定され、その後も制作を続けていたということは、最初の感動が続いていたということでしょうか。
 会期中、美術部の活動として鑑賞に訪れた中学生の中に、関谷四郎の親戚であるという生徒がいました。特に関谷四郎の話や制作の裏面はありませんでしたが、じっくりと作品を見ているその姿からは、「美しい」という声が聞こえてくるようでした。(担当 田村)
 口ギャラリートーク 5月27日



関谷四郎「接合模様壺」1968

みんなの教室
木のクラフト教室

(8月4日、5日)

木のクラフト教室では、音響きとメモスタンドを作りました。「思っているうちに、これでもか、これでもかとツヤを出したくなりました。」「夢中に、無心に過ぎた時間でした。」というアンケートの通り、作業の中心はサンドペーパーをかけて表面をなめらかにすることでした。サンドペーパーの目が細くなるにつれ手触りが違ってくるところを実感しながら、休憩をとることも忘れてみなさん熱心に磨いていました。蜜ロウワックスによる仕上げで木の色味が深まり、木目が鮮やかに浮かび上がると同時に、しっとりとしたツヤが出てくると、1日頑張ったかいたががあったと、一人一人に笑顔がこぼれました。「家族のものを作れてよかった」、「作っていて愛着がわいてきた、大事に使います」という感想に、心が温まりました。(担当 藤井)



親子で糸入口に挑戦しました。(8月4日)

この夏も
 朝顔のグリーンカーテンが
 風の回廊を彩りました。

ARK no.64

秋田県立近代美術館ニュース・アーク

Akita Museum of Modern Art

12 2012 年度・上半期の美術館レポート

特別展

- 安野光雅の絵本展 4.21-6.17
- 平山郁夫展 7.28-9.23

企画展

- ふるさとの四季展 6.22-7.22

コレクション展

- 第 1 期 美の技-関谷四郎- 4.11-7.8
- 第 2 期 日本美術院の画家たち 7.11-10.8

みんなの教室

- イラスト「ぼくのうち、わたしのまち」 5.20
講師：山本丈志(当館学芸員)
- 木のクラフト教室 8.4,5
講師：三浦直(当館副館長)

美術館教室

- 日本画教室 8.25,26 (全 2 回)
講師：櫻尾康子(当館学芸員)
- 油彩画教室 9.2,16,23 (全 3 回)
講師：渋谷重弘さん(洋画家・秋田公立美術工芸短期大学名誉教授)

出前美術館

- 出前彫刻展・能代エナジウムパーク 8.4-8.12

ギャラリートークなど

- 安野光雅の絵本展
ギャラリートーク 4.22,5.6,6.3
- 安野光雅の絵本展
絵本の朗読会 5.26,6.3
朗読：後藤明日香さん(WB 秋田朝日放送アナウンサー) 5.26
朗読：塩地 美澄さん(WB 秋田朝日放送アナウンサー) 6.3
- ふるさとの四季展
ギャラリートーク 6.24,7.1
- 平山郁夫展
ギャラリートーク 7.28,8.12
記念公演 9.9
講師：河野元昭(当館長・東京大学名誉教授)
- 美の技-関谷四郎- (第 1 期コレクション展)
ギャラリートーク 5.27
- 日本美術院の画家たち(第 2 期コレクション展)
ギャラリートーク 7.14,21

めぐるおしでした。

ミュージアムコンサート

- ヴァイオリンコンサート 6.16
演奏：松尾沙樹さん(ヴァイオリン)
山崎生子さん(ピアノ)
- 二胡コンサート 7.29
演奏：魯小葉さん(二胡)
相澤勝也さん(シタール)
- インド古典音楽コンサート 9.8
演奏：相澤勝也さん(シタール)
佐伯モリヤスさん(tabla)
Kei さん(ボーカル)



ミーチュー、幸上
5月5日・安野光雅の絵本展に来てくれました。



美しい調べが館内に響きわたりました。
6月16日・ヴァイオリンコンサート



模型を前に、説明に集中するみなさん
7月27日・平山郁夫展内覧会



調子は続く、二胡コンサート
7月29日・二胡コンサート



大地の鼓が響きわたります
9月8日・インド古典音楽コンサート



堂先に全神経を集中させて
8月25,26日・日本画教室



カバくんをひとりじめです。
出前彫刻展・能代エナジウムパーク・8月4日-12日



「いただきます」
9月23日・油彩画教室

i information

■これからの展覧会■

特別展

- 岩合光昭写真展「いぬ」 9.29-11.25

企画展

- 美術館の眼VI展・前期 11.30-2013.2.3
- 美術館の眼VI展・後期 2013.2.6-4.14

コレクション展 Art Report Akita 2012

- 第 3 期 pick up artist 横山津恵 10.12-2013.1.14
- 第 4 期 所蔵名作選(予定) 2013.1.25-4.7

美術館 HP はもちろん、「秋田県立近代美術館」を検索!

●つくる、しる、たのしむ●

つくる

- みんなで作る
小学生低学年以下の児童から一般まで参加できます。
小学生低学年以下の児童が参加する場合は保護者同伴。
クリスマスグッズづくり 11.25
- 専門的につくる
中学生以上一般を対象にしています。
彫刻教室 10.21,11.18 (全 2 回)

しる・たのしむ

- ミュージアムコンサート 12.23,2013.2.10

秋田県立近代美術館
 Akita Museum of Modern Art

開館時間 9:30-17:00(入館は 16:30 まで)
 休館日 12/29-31、2013/1/15-24
 交通 ●秋田自動車道・横手インターより 3 分
 (バ)●横手駅(タクシー)より徒歩約 10 分

●2012 年 9 月 30 日 発行
 ●発行編集・秋田県立近代美術館
 013-0064 秋田県横手市赤坂字宮ヶ沢 62-46
 TEL0182-33-8855 FAX 0182-33-8858
 E-mail akitamma@rnac.ne.jp
 ●デザイン・T.Yamamoto ●印刷・三森印刷
 ●表紙背表紙写真「朝顔」撮影：菊地徳夫



原画のうつくしさに
感激!!

「あっ、みつけた!」どこどこ? -セカンドスクール-



秋田県・甘肅省友好提携30周年記念事業
佐川美術館所蔵

平山郁夫展

平成24年 7月28日(土) ~ 9月23日(日)

「大唐西域画」にみる、
玄奘と平山の旅路

特別展リポート

このたびの展覧会では佐川美術館が所蔵する300点を超える平山郁夫コレクションの中から、仏教の教典を求めた玄奘三蔵の旅と、東西交流の道であるシルクロードを題材にした作品を中心に76点を展示しました。中でも中国の長安からインドのナーランダまでの行程を描いた「大唐西域画」は特に見応えがありました。これは奈良・薬師寺に奉納された巨大な壁画を、約1/4サイズに縮小して新たに描いたもので、より多くの人に見て欲しいという作者の願いが込められています。会場には薬師寺・玄奘三蔵院の1/15サイズの模型も展示していたので、来館された方々も作品と見比べながらとても興味深くご覧になっていました。そして大唐西域画を制作する過程で描かれた素描の数々。仏教発祥の地インドをはじめとして、中央アジアや中国などシルクロード周辺各地を旅し、取材をもとにして生まれた素描は、勢いのある確かな描線と澄んだ色彩によって独特の味わいがあり、こちらにも魅力的でした。秋田の人には日本画の「春の院展」でなじみの深い平山郁夫ですが、このたびの展覧会では、その人となりや創作のこだわりなどについて理解を深められ、より一層作品を楽しんでいただける機会になったのではないかと思います。(担当・木村)

- ロギャラリートーク:7月28日、8月12日
- ロ二胡コンサート:7月29日
- ロインド古典音楽コンサート:9月8日
- ロ美術館教室・日本画:8月25日~26日
- ロ記念公演「平山郁夫一人と芸術」:9月9日

安野光雅の絵本展

4.21(土)▶6.17(日)

特別展リポート

「パンダみつけた」「ライオンもいるよ」「これなんだっけ」絵の前に賑やかな子どもたちがいます。隣の展示室では、「もしかしてこれドンキホーテ?」「こんなところに白雪姫?」大人も画面に釘付けです。「安野光雅の絵本展」は、安野さんの生まれ故郷津和野にある安野光雅美術館の開館10周年を記念した巡回展で、絵本やポスターの原画など約200点が展示されました。柔らかく美しい色調、細かな描写、俯瞰してみた風景、装飾的な縁取り・・・これらは安野作品の特徴ですが、その中に遊び心あふれる楽しい絵もたくさんありました。例えば「旅の絵本V」。スペインの町並みに、日本の昔話やグリム童話の主人公がいたり、安野光雅美術館のマークがあったり・・・安野さんのしかけたいたすら(?)を発見した来館者は大喜びでした。みなさんは何か発見できましたか?ところで、この展覧会で、私はあるご夫婦とお会いしました。お二人は1960年代初版の絵本を持参しており「この絵本は私達のお気に入り。子どもたちにも孫たちにも見せました。今日は原画を見ることができてとてもうれしい」と話してくれました。絵本は使い古されておりましたが、長い間大切にされてきたことがよくわかるものでした。古い絵本と、それを大事にきてきたお二人に出会えたことが、とてもうれしく、心に残りました。安野さんの制作は、86歳を過ぎた今も続いています。一枚の絵に、一冊の絵本にこめられたメッセージは、これまでも、そしてこの展覧会を通してたくさんの人に伝わっていると感じました。そしてそれはきっとこれからもずっと続いていくのだと信じています。(担当・梶尾)

- ロギャラリートーク:4月22日、5月6日、6月3日
- ロみんなの教室・イラスト:5月20日
- ロヴァイオリンコンサート:6月16日

ふるさと四季

豊四郎・得之が描いた秋田

平成24年6月22日(金)-7月22日(日)

二人の意外な共通点

企画展リポート

ふるさと秋田をこよなく愛した二人の作家、福田豊四郎と勝平得之の作品、計100点を展示しました。4つの展示室をそれぞれ春夏秋冬のテーマに分けたこと、解説パネルを添えたことがこの展覧会の特徴でした。今では見られなくなった四季折々の風俗や自然を懐かしく感じられた方もいたことでしょう。また、当時を知らない世代の方々にとっては初めて観るものが多く、新鮮な感動となったのではないのでしょうか。会期中は、セカンドスクールとして鑑賞にいらしゃった学校もあり、図画・工作や美術といった枠を超えた幅広い視点から作品を味わっていただけたと思っております。東京で日本画を描き続けた豊四郎と、秋田で版画を描き続けた得之。活動した場所や技法こそ違いますが、同じ秋田に、同じ1904年に生まれた二人の心は、常にふるさと秋田に向いていました。偶然にも、それぞれの娘に「郷子」という同じ名前をつけていたことから、彼らの故郷への思いが伝わってきます。二人の共通点は、まだまだあるのかも知れませんね。(担当・藤井)

ロギャラリートーク:6月24日、7月1日

ふるさと四季展・夏の展示室

平成24年度第11期コレクション展
日本美術院の画家たち
7月11日(土)~10月8日(日)

日本美術院の重鎮として活躍した「平山郁夫」展の開催にあわせて、当館が所蔵する日本美術院の精鋭たちの作品を展示しました。美の巨人・岡倉天心の下に集まった横山大観、下村観山、寺崎廣業、梶田半古など、当館自慢の日本画が勢揃いです。また日本美術院展で活躍してきた堀川達三郎、横山津恵ら秋田の作家たちもご紹介しました。どの作品も創作への情熱が画面にあふれたものばかり。みなさんはお楽しみいただけましたか。(担当・山本)

ロギャラリートーク:7月14日、21日



みんなの教室・イラストレーション

ぼくのうち、わたしのまち

みんなの教室リポート

「安野光雅の絵本展」の会期中におこなわれたイラスト教室では、安野先生が愛用しているフランス製のアルシュという紙に、水彩絵の具で思い思いに「ぼくの(わたしの)うち」を描きました。講師は当館学芸員の山本文志が担当しました。初めは緊張気味だった参加者のみなさんも、参考作品に触れ、アドバイスに耳を傾けているうちに、筆がなめらかに動くようになっていきました。丁寧な描写で再現された思い出の木のおうちや、大好きな本がたくさん積み上げられた本屋さん、おいしそうなお店の家など、素敵な作品がたくさん仕上がりました。最後は、それぞれの作品を美術館で使用しているマットに収めて出来上がりです!きっと今頃、みなさんのお宅に飾られていることでしょう。受講者のみなさんには、後日、美術館からもう一つのプレゼントをお届けしました。参加者全員の作品をスキャナーで読み取り、街の風景にまとめた小さな絵本です。安野先生の作品に理解を深めながら体験した水彩画の楽しさを、一緒に講座を受講したみなさんの作品とともに、長く心に留めていただけたら幸いです。(担当・奈良)

ロ開催日:5月20日

絵本、つくっちゃいました。

赤坂不動産が分譲した1区画(美術館が用意した画用紙)に、自由に自宅や店舗を建てて(描いて)もらいました。軒を連ねてきた街の様子を絵本「ぼくのうち、わたしのまち あかさか通りものがたり」にまとめてみました。イラストレーションは「描いて」終わりではありません。印刷や複製によってたくさんの人たちに楽しんでもらえるようになります。「みんなの教室のみんな」が描いたイラストレーションは一つになって、すてきな絵本になりました。絵の中にいろんなものが描かれています。そして様々なストーリーがかけられています。ページをめくって、みんなのまちを探検してほしいですね。これが絵本の全体図です。

